

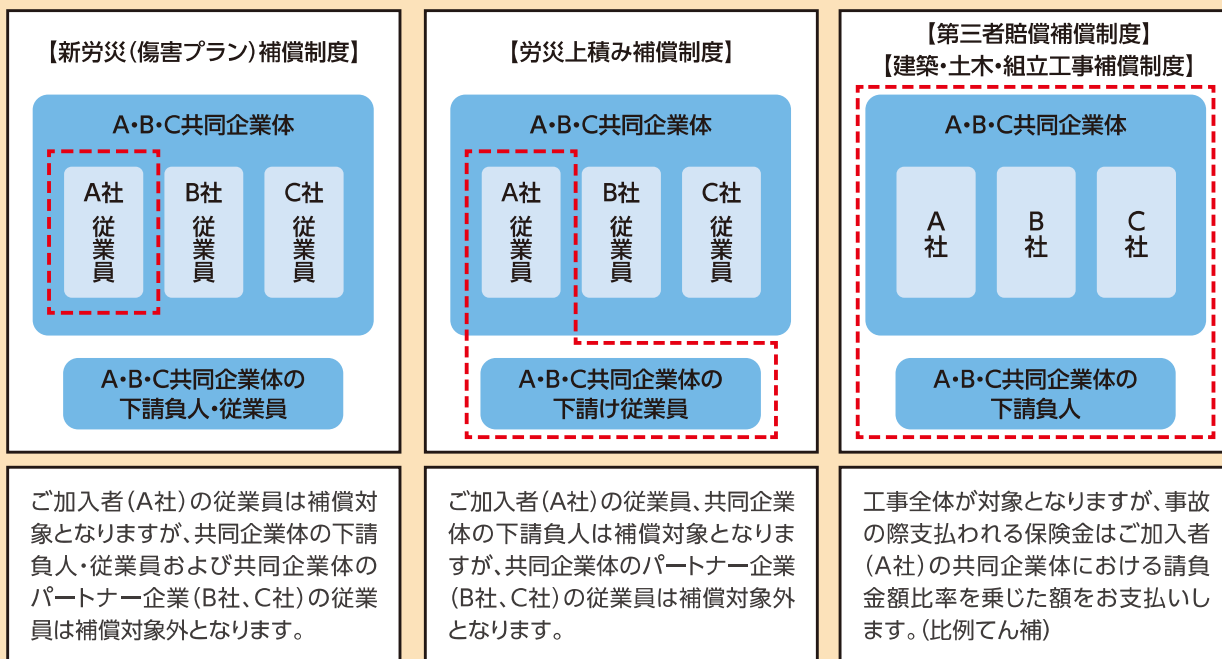
甲型JV(共同施工方式)を補償するには?

① 年間包括契約方式で甲型JVを補償する場合…

ご加入者の年間包括契約を「甲型JVを含む」としている場合であっても工事全体が完全に補償されるわけではないのでご注意ください。

A・B・C共同企業体において、ご加入者(A社)の年間包括契約を「甲型JVを含む」としている場合の補償

赤枠内が補償対象となる範囲



おすすめ

② 甲型JVスポット契約方式で甲型JVを補償する場合…

工事全体が補償対象となるため、甲型JV(共同施工方式)への補償をご検討の場合は甲型JVスポット契約方式でのご加入をおすすめします。

※新労災(傷害プラン)補償制度は甲型JVスポット契約方式はできません。

甲型JVスポット契約方式の注意点

第三者賠償補償制度の甲型JVスポット契約において、仕事の終了後(引き渡し後※)に関する補償(生産物特約関連で補償する賠償事故)は実質的に補償対象外となりますのでご注意ください。

労災互助会の第三者賠償補償制度は保険期間中に発生した賠償事故を補償の対象とします(事故発生ベース)。また商品にパッケージ化されている生産物特約関連の補償は引き渡し後の賠償事故を補償対象とするものです。しかしながら、甲型JVスポット契約の保険期間は、その事業が完了する翌月1日午後4時までとなります(ただし完了日が1日の場合は、終期日は同日となります)。そのため甲型JVスポット契約においては、生産物特約関連の補償は多くの場合が補償対象外となります。

あわせて「ワイド補償特約」の(1)生産物自体・仕事の目的物自体の補償、(4)物理的損壊を伴わない財物の使用不能損害の補償における引き渡し後の賠償事故も多くの場合が補償対象外となりますので、甲型JVスポット契約におけるワイド補償特約加入時には十分ご理解のうえ、ご加入ください。

(パッケージ商品であるため、お見積書・加入申込書・加入証明書には、生産物特約関連の保険金額等が記載されますが、上記のとおりとなりますのでご注意ください。)

※引き渡しを要しない場合はその工事が完了したときとなります。